

日本産婦人科医会記者懇談会  
平成26年5月14日(水)

## 産婦人科医による女性アスリートへの対応

日本産婦人科医会常務理事(女性保健担当)  
総合母子保健センター愛育病院 副院長  
安達 知子

### 平成26年度事業計画より

2020年の東京オリンピック開催を前に、思春期女子のアスリートに対するトレーニングは活発化している。これをきっかけに、女性アスリートが自身の体の状態や月経および月経異常(無月経をはじめとする月経周期異常や月経困難症など)、月経移動などについて、産婦人科を受診して適切な診療やアドバイスを受けやすい環境を作る。

**対象となるアスリートとは？**

トップアスリート(オリンピック選手や各競技団体の強化指定選手)のみならず、スポーツを行う(若年)女性全体：  
中学生：92万人(全中連加盟登録数)、高校生：44万人(全高連加盟登録数)、大学生・社会人：100万人??

### 計画：

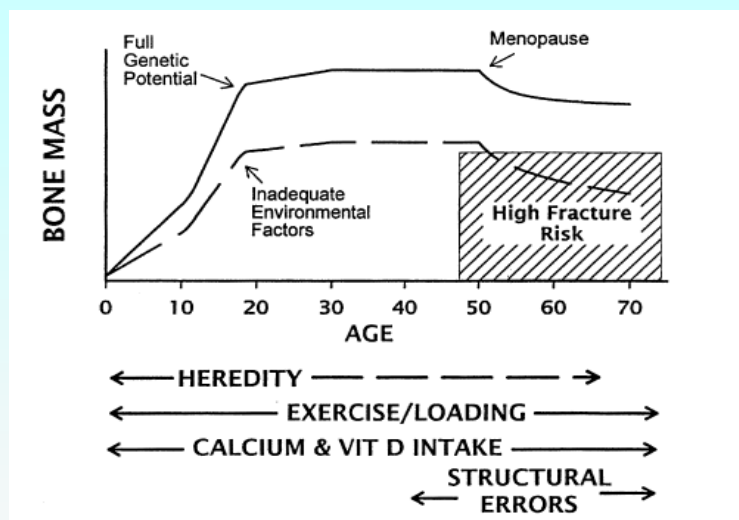
1) アスリートおよびその家族向け、スポーツの指導者や教師向け、医師向け(産婦人科医を中心、その他学校医、養護教諭など)の冊子を作成する。

2) 産婦人科医に対しては、アスリートの診療に対するの注意点やノウハウについて、全国47都道府県で講習会を行うことを目指す。

以上について、日本産科婦人科学会、国立スポーツ科学センター、日本体育協会、日本子宮内膜症啓発会議などと、密な連絡を取り合い、メディアや各種団体(日本アンチドーピング機構、日本オリンピック委員会、日本医師会、全国養護教諭連絡協議会など)の協力を得て行う。

### いわゆるスポーツドクターについて

- 日本体育協会公認スポーツドクター：  
全国 5,512人  
整形外科医； 4,192名 76%  
産婦人科医； 95名  
そのうち、女性産婦人科医は15名
- 日本医師会認定健康スポーツ医
- 整形外科学会認定スポーツ医



### 女性の生涯における骨量の変化

Heaney RP, et al: Peak Bone Mass, review article. Osteoporosis Int 11: 2000

## 第一回女性アスリートへの診察上の注意点等 に関する講習会

平成26年9月7日(日)13:30から兵庫県産婦人科学会(産婦人科医会・産科婦人科学会)のもとに  
兵庫県医師会館(神戸三宮)で開催予定

- 女性アスリートに見られる疾病と治療(主に、月経異常)
- 月経周期移動:パフォーマンスを下げないための月経移動
- アンチ・ドーピングの基礎知識
- 女性のライフスタイルと疾病  
(=思春期の健康は女性の生涯の健康につながる)
- アスリートおよびすべての女性が受診しやすい体制づくり